

受付

5 3.22

No.409

企画部

共通第11号様式(第17条第1項)

令和 4 年度 補助事業等実績報告書

令和 5年 3月22日

函館市長 工藤 壽樹 様

〒040-0035

住所 函館市松風町10番2号

補助事業者等

団体名 函館日韓交流会

代表者氏名 申 東煥

補助事業等の名称 日韓科学交流事業

令和5年2月2日函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、令和5年3月3日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 20,000円 /

補助金等領収済額 金 20,000円 /

補助金等領収未済額 金 0円 /

補助事業等の計画(実績)書

|                    |   |
|--------------------|---|
| 名 称                | 日韓科学交流事業  |
| 開 催 期 日            | 令和5年2月28日～令和5年3月3日  |
| 開 催 場 所            | 函館市内学童保育所、はこだて未来大学、<br>函館市国際水産・海洋総合研究センターなど   |
| 主催者、共催者<br>および後援者等 | 主催 函館日韓交流会<br>共催 株式会社函館研究所  |
| 参 加 人 員            | ・韓国側1名(東亜日報傘下東亜サイエンス教育企画研究所長)<br>・日本側17名(科学教室8名、ワークショップ3名、表敬訪問6名)<br><br>-----<br>うち外国人参加人数 1名  |
| 補助事業等<br>の 内 容     | 韓国の [ ] を招き、日韓の科学教育者による交流を図った。<br><br>・日韓の科学教育者による児童向けの科学教室の実施。<br>・日韓の科学教育者によるワークショップの実施。<br>・科学教育関連機関の表敬訪問の実施。  |
| 補助事業等の<br>実施による効果  | 本事業の実施により、科学教育者としての知見を深められたことはもちろん、次世代を担う児童の育成に繋がったほか、コロナ禍で途絶えていた日韓交流の促進や友好親善が図られた。   |
| 備 考                | <子供科学東亜><br>東亜サイエンスの子供向けの科学雑誌で月2回発行。<br>この雑誌では「子供科学東亜記者団約25,000人」と市民参加科学プロジェクト「地球愛探査隊年間約3,500人」を運営中。<br>[ ] は元編集長であり、プロジェクト企画者である。<br>通常、[ ] として、科学教室を開催している。 |

- (注) 1. この様式は、大会等の開催その他これに類する事業等に係る補助金等の実績報告をする場合に使用すること。  
2. 補助事業等の内容は、詳細に記載すること。(別紙も可)  
3. その他必要と認められた書類を添付すること。

補助事業等の収支予算（決算）書

収入の部

（単位：円）

| 項 目    | 本年度予算額<br>(本年度予算額) |               | 前年度予算額<br>(本年度決算額) |               | 増 減    |               | 内 訳 |
|--------|--------------------|---------------|--------------------|---------------|--------|---------------|-----|
|        |                    | うち、<br>補助対象事業 |                    | うち、<br>補助対象事業 |        | うち、<br>補助対象事業 |     |
| 自己資金   | 29,000             | 20,000        | 26,683             | 14,508        | △2,317 | △5,492        |     |
| 協賛金    | 20,000             | 20,000        | 26,000             | 26,000        | 6,000  | 6,000         |     |
| 函館市補助金 | 20,000             | 20,000        | 20,000             | 20,000        | 0      | 0             |     |
| 負担金    | 12,000             | 0             | 9,000              | 0             | △3,000 | 0             |     |
| 合 計    | 81,000             | 60,000        | 81,683             | 60,508        | 683    | 508           |     |

支出の部

（単位：円）

| 項 目     | 本年度予算額<br>(本年度予算額) |               | 前年度予算額<br>(本年度決算額) |               | 増 減    |               | 内 訳 |
|---------|--------------------|---------------|--------------------|---------------|--------|---------------|-----|
|         |                    | うち、<br>補助対象事業 |                    | うち、<br>補助対象事業 |        | うち、<br>補助対象事業 |     |
| 報償費     | 22,000             | 22,000        | 23,980             | 23,980        | △1,980 | △1,980        |     |
| 交通費・宿泊費 | 28,000             | 28,000        | 29,449             | 29,449        | △1,449 | △1,449        |     |
| 会場使用料   | 5,000              | 5,000         | 5,000              | 5,000         | 0      | 0             |     |
| 事務経費    | 5,000              | 5,000         | 2,079              | 2,079         | 2,921  | 2,921         |     |
| その他     | 21,000             | 0             | 21,175             | 0             | △175   | 0             |     |
| 合 計     | 81,000             | 60,000        | 81,683             | 60,508        | △683   | △508          |     |

収支差引額 0 円

- (注)
- この様式は、補助金等に係る実績報告をする場合に使用すること。
  - 項目は、詳細に区分して記載すること。
  - 金額の単位は、「円」とすること。
  - 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
  - その他必要と認められた書類を添付すること。

## 予算(決算)額内訳一覧

(収入の部)

(単位:円)

| 項 目    | 本年度予算額<br>(本年度決算額) |               | 積算内訳     | 備 考       |
|--------|--------------------|---------------|----------|-----------|
|        |                    | うち、<br>補助対象事業 |          |           |
| 自己資金   | 26,683             | 14,508        |          |           |
| 協賛金    | 26,000             | 26,000        |          | 株式会社函館研究所 |
| 函館市補助金 | 20,000             | 20,000        |          |           |
| 負担金    | 9,000              | 0             | 3名@3000円 | 懇親会費      |
| 合 計    | 81,683             | 60,508        |          |           |

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。  
 2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。  
 3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。  
 4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

## 予算(決算)額内訳一覧

(支出の部)

(単位:円)

| 項 目     | 本年度予算額<br>(本年度決算額) |              | 積算内訳  | 備 考               |
|---------|--------------------|--------------|---|-------------------|
|         |                    | うち<br>補助対象事業 |   |                   |
| 報償費     | 23,980             | 23,980       | 講師謝礼 10,000円<br>通訳謝礼 9,000円<br>記念品 4,980円       | 添付①<br>添付②<br>添付③ |
| 交通費・宿泊費 | 29,449             | 29,449       | 交通費 10,249円(277km*37円)<br>宿泊費 6,400円×3泊=19,200円 | 添付④<br>添付⑤        |
| 会場使用料   | 5,000              | 5,000        |   | 添付⑤               |
| 事務経費    | 2,079              | 2,079        | 消耗品等  | 添付⑥               |
| その他     | 21,175             | 0            | 懇親会 9,350円<br>食事代 10,025円<br>五稜郭タワー1,800円       | 補助対象外             |
| 合 計     | 81,683             | 60,508       |   |                   |

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。  
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。  
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。  
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。